

第2学年 生活科学習指導案

日 時 平成21年11月17日(火) 1校時

児 童 2年 男5名 女6名 計11名

場 所 2年教室

指導者 齋藤 法子

1 単元名 みんなでつくろうフェスティバル

2 単元について

(1) 教材について

学習指導要領において生活科の目標は「具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。」である。この目標を受けて9項目の内容が設定されている。特に「(8) 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。」の内容に重点をおいて本単元を設定している。

本単元では、これまでの学習を振り返りながら、お世話になった人たちと一緒に楽しめるフェスティバルを企画・準備し、子どもたち自身の手で作り上げていく。今まで経験した行事や見聞きした行事を参考に、プログラムや必要なものを話し合い、仕事を分担する。時には全員で、時にはグループや個人で、試行錯誤しながら任された準備を進める。その努力の集合体としてフェスティバルを位置づけ、自分たちの手で作ることの楽しさや満足感を味わえるものとした。また、家の人や地域の方に教わったり、お世話になった人を招待したりすることで、人とかかわることの楽しさや地域の温かさを感じられるようにしたい。

(2) 児童について

子どもたちは1学期に下斗米のまち探検を6回行い、まちの人と出会い、かかわりをもつ活動をした。数々の発見をし、もっと知りたいことを追求するうち、知らないまちが身近で愛着のあるまちとなり、まちの人に出会うのが楽しみになっていった。また、御返地に戻って秋のまちを探検し、自分の住むまちでも新たな発見をし、地域の人とさらに深くかかわる活動をしてきた。

また、草花や生きものを1年生と一緒に探す活動や、まち探検で分かったことを1年生に発表する活動を経験してきた。

人とかかわることを楽しいと感じている子どもたちではあるが、自分から話しかけるのが苦手な子や、一方的に自分の思いだけを伝えてしまいがちな子もいる。

(3) 指導にあたって

○ 指導観

友だちと一緒に考えて練習や準備をする際には「一人でも楽しいが、みんなでやるとさらに楽しい」という思いをもたせ、任せられた仕事を自分なりに工夫して、より楽しいフェスティバルにしたいという意欲を高めたい。

フェスティバルでは一人ひとりの思いや願いを取り入れてプログラムや作品、発表をつくり上げていく。それらを通して、自分のことや自分の伝えたいことを身近な人に伝える喜びや、友だちのことや友だちが伝えたいと考えていることを理解する楽しさを実感させたい。

また、かかわる対象を友だちから地域の人々、さらに1年生へと広げ、交流することの楽しさを実感し、進んで人とかかわろうとする態度を養うために、フェスティバルに招待する相手のことを常に意識させながら、活動に取り組みたい。

○キャリア教育に関して

活動を進めるにあたっては、子どもたちから出されたアイデアをプログラムや店の品物、会場の飾り付け等に生かすようにし、自分たちが計画したことを自分たちで形にしていく力を育てたい。(計画実行能力)

また、計画や準備の段階で、どうしたら楽しいフェスティバルになるかを友だちと相談し助け合って活動する中で、互いの思いを伝え合う力や友だちの考えのよさに気付く力を育てたい。そして、フェスティバル当日は、招待した人や一緒に準備してきた友だちと楽しい時間を共有し、身近な人とかかわりを深めさせたい。(自他の理解能力・コミュニケーション能力)

(4) キャリア教育との関連

単 元 名	ね ら い の 観 点							
	人とかかわる力		働くことの大切さに 気づく力		自己の夢を つくり上げる力		自ら考え、 粘り強く取り組む力	
	自他の 理解能力	コミュニケー ション能力	情報収集・ 探索能力	職業理解 能力	役割把握・ 認識能力	計画実行 能力	選択能力	課題解決 能力
	○	○			○	◎		
み ん な で つ く ろ う フ ェ ス テ ィ バ ル	<p>【キャリア教育単元目標】</p> <p>◎みんなが楽しめるようなフェスティバルの計画を立て、準備をする。 (計画実行能力)</p> <p>○自分から進んで友だちと力を合わせたり、地域の人とかかわったりしながら活動する。 (コミュニケーション能力)</p> <p>○活動を通じて友だちのよさや温かさ、自分の成長に気付く。 (自他の理解能力)</p> <p>○役割を分担して準備物や作品をつくったり、発表をしたりする。 (役割把握・認識能力)</p>							

3 単元目標

◎これまでに体験した行事や見聞きした行事を参考に、友だちと協力して、自分たちの行事の企画、準備を工夫して行い、かかわった地域の人やお世話になった人を学校に招待して、みんなでフェスティバルを楽しむことができる。

- ・これまでに見聞きしたり参加したりした行事を参考に、自分たちでもフェスティバルをやりたいという思いをもち、進んで企画や実行をしようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・招待した人に楽しんでもらうために、楽しく遊べるおもちゃをつくったり、歌や劇をつくったりするなどして、工夫してフェスティバルをつくり上げることができる。(思考・表現)
- ・友だちと力を合わせることの大切さと楽しさ、地域の人々とかかわる楽しさに気付いている。(気付き)

4 指導計画（14時間）

小単元と活動計画	観点別評価規準
<p>1 けいかくを立てよう (3時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や昨年度のフェスティバルに参加した経験を振り返り、どのようなプログラムにするか考える。(1) ・楽しいフェスティバルにするためにどんな店を開いたらよいかを話し合い、グループをつくる。(1) ・店の品物や必要な準備について話し合う。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しいフェスティバルにするために、進んで計画を立てようとしている。(関心・意欲・態度) ◎みんなが楽しめるようなフェスティバルにするために、フェスティバルの内容や準備することを考えることができる。(思考・表現) ○これまでの活動を通してお世話になった人やなかよくなった人を招待するとよいことに気付いている。(気付き)
<p>2 じゅんびをしよう (8時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分担ごとに分かれて、発表や遊びに必要なものをつくったりする。(2) <li style="text-align: center;">本時1/2 ・フェスティバルに出すおやつを試作する。(2) ・準備したものを使って発表の練習をしたり、遊び方の工夫をしたりする。(1) ・フェスティバル用のおやつをつくる。(2) ・教室の飾り付けや各コーナーの設置など会場の準備をする。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○材料を用意したり製作方法を調べたりして、フェスティバルに必要なものや作品を、友だちと協力して準備しようとしている。(関心・意欲・態度) ◎準備物や作品を工夫してつくったり、発表の仕方や遊び方を工夫したりすることができる。(思考・表現) ○発表の仕方や遊び方を助言し合う中で、友だちのよさに気付いている。(気付き)
<p>3 フェスティバルをたのしもう (2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェスティバルの会場の準備をし、招待した人を前にして会をオープンする。(1) ・計画に従って、生活科の学習発表、おもちゃ遊び、ゲームなどを行う。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○招待した人や友だちと一緒に、楽しいフェスティバルにしようと、進んで活動に取り組んでいる。(関心・意欲・態度) ◎招待した人や友だちが楽しめるように、フェスティバルの進め方や出し物の演じ方、遊び方などを工夫することができる。(思考・表現) ○友だちと出し物の演じ方や遊び方を助言し合う中で、友だちのよさや自分の成長に気付いている。(気付き)
<p>4 おれいをしよう (1時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画プリントなどをもとに、自分たちがフェスティバルでできたことを振り返る。 ・招待した人にお礼の手紙を書いて届ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○フェスティバルのことを振り返り、来てくれた人に感謝の気持ちを伝えようとしている。(関心・意欲・態度) ○自分たちが計画したことと実際にフェスティバルでしたことを比べながら振り返るとともに、心のこもったお礼の手紙を書くことができる。(思考・表現) ◎自分の思いを実現させるためには、さまざまな人の支えが必要であることに気付いている。(気付き)

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・店開きに必要な品物を、友だちと相談しながら工夫してつくることできる。(思考・表現)

(2) 本時の展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点 (○ 評価)	準 備
つかむ 5分	1 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">楽しいフェスティバルにするためのしなものを工夫してつくりよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲を高めるために、昨年度のフェスティバルを想起させる。 ・招待した人を想起させ、その人に自分の思いを伝えるための品物であることを押さえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・招待する人の写真
かかわる 37分	2 作業コーナーと使い方の約束事を確認する。 3 店ごとのグループに分かれ、友だちと相談しながら品物をつくる。 4 つくった品物をみんなに紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に作業できるように、段ボールカッターや錐、カッターなどの危険を伴う道具を使うための作業コーナーを設け、使い方の約束を確認する。 ・友だちとの相談を大切にし、相談によって計画を変更してもよいことを助言する。 ・子ども同士でつくり方のコツを教え合ったり手を貸し合ったりするよう、うまく作業している児童を紹介する。 <p>○店開きに必要な品物を、友だちと相談しながら工夫してつくることできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくった品物と工夫点、つくろうと思った理由を紹介させる。招待する人のことを考えている児童を賞揚し、フェスティバルの目的意識を高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具 ・材料 (木の実、紙類、紙コップ、毛糸 等) ・計画カード
ふりかえる 3分	5 次時の活動を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・次時も友だちと協力して品物をつくっていくことを知らせ、フェスティバルへの意欲を高めるようにする。 	

(3) 評価規準と具体の評価規準

学習活動における 評価規準	具 体 の 評 価 規 準		支 援
	十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	
みんなが楽しめるよ うなフェスティバルに するために、友だちと 相談しながら工夫して 品物をつくることがで きる。(思考・表現)	・招待した人のことを考 え、友だちと工夫点を 相談しながら品物をつ くっている。	・自分がつくりたいもの を友だちに伝えながら 品物をつくっている。	・品物を誰に渡したい かを一緒に考えたり、 材料や他の児童の品 物を見せてイメージ を持たせたりする。

(4) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 楽しいフェスティバルに するためのしなものを 工夫してつくろう。 </div> <p>おもちゃやさん アクセサリやさん ゲームやさん がっきやさん リースやさん</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 招待する人の写真 </div> <p>カッターのつかい方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マットの上で ・何回かに分けて ・はの長さ 	<p>きりのつかい方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねん土の上で ・りょう手で回す
--	---	--